



ついに農薬登録を取得!

デュボン株式会社 農業製品事業部

「新規殺虫剤サイアジピル」[®]

このたび10月3日付で、有効成分シアントラニリプロロールを含む殺虫剤(通称「サイアジピル[®]剤」)が一斉に農薬登録を取得しました。今回は、野菜用、果樹用、水稲用と幅広い分野にわたる、豊富な製品ラインアップの中から4製品をピックアップし、その概要をご紹介します。

殺虫スペクトラムが大幅に拡大 注目のジアミド剤

サイアジピル[®]剤は米国デュボン社が開発したアントラニリックジアミド系の殺虫剤です。作用機構は既存のジアミド系殺虫剤と共通ですが、ヨトウムシなどのチョウ目害虫やナモグリバエなどのハエ目害虫に卓効を示すだけでなく、アブラムシ類、ネギアザミウマなどのスリップス類、オンシツコナジラミなどのコナジラミ類にも幅広く効果を発揮します。

これらの吸汁性害虫も防除可能になり殺虫スペクトラムが大幅に広がったことから、これまでとは異なるタイプのジアミド系殺虫剤として試験期間中から注目を集めていました。人畜に対する高い安全性、有用生物天敵類などに対しても影響が少ないなど、製品として優れたプロフィールを持っています。

期待される普及分野

ジアミド系殺虫剤はチョウ目害虫に対して卓効を示し、残効も比較的長いことから北海道においてもすでにチョウ目害虫防除剤として広く使用されています。キャベツ、ブロッコリーなどの葉菜類をはじめ、最近では大豆のマメシロイガ対策の殺虫剤としても急速に普及が進んできました。しかし、吸汁性害虫による被害の多いトマト、キュウリなどの果菜類にジアミド系殺虫剤が使用されることは、府県の一部産地を除いて、これまでほとんどありませんでした。このたび農薬登録を取得したサイアジピル[®]剤は吸汁性害虫にも広く活性を示す初のジアミド系殺虫剤で、ミツバチ、マルハナバチに対する影響および天敵に対する影響も少ないことが特徴です。果菜類の生産現場で

もおおいに活躍することが期待されます。また、葉菜類においても、最近ではネギアザミウマの発生が話題になる(北海道で昨年注意報発令)など害虫の発生状況に変化の兆しがみられます。道内の一部地域では混合剤の灌漑処理により幅広い害虫の防除を行っている実態がありますが、野菜用の灌漑処理専用剤デュボン[™]ベリマーク[®]SCはチョウ目害虫はもちろん幅広い害虫を1成分で防除可能であり、とりわけYES! Cleanの取り組みをされている産地へは新たな提案ができるのではないかと考えております。

適切な使用のための注意点

多くのサイアジピル[®]剤は農薬登録を申請した段階での薬効・薬害試験が十分ではなかった(例数不足)ため、現時点での適用作物、適用害虫の範囲は狭いと言わざるを得ません。登録内容はこの先の適用拡大で急速に充実させていく予定ですが、ご使用に際してはそれぞれの製品の適用範囲、注意事項をしっかりと確かめ、間違いないご使用をお願いいたします。

なお、野菜用の散布専用剤であるデュボン[™]ベネビア[®]ODについては原則として展着剤は不要という考え方でありますが、展着剤の加用を推奨されている作物に使用する場合は使用方法、また他の農薬を混用して散布した場合の作物に対する安全性について十分な知見を積み上げたいとの考えにより、当面は供試品による現地検討に徹し、第1回目の適用拡大で登録内容が大幅に充実するのを待ってから発売を開始する予定です。もうしばらくお待ちください。

このたび無事に農薬登録を取得しいよいよ本格的な普及活動を開始することになります。北海道の農業現場において有益な生産資材としてご利用いただければ開発会社としてこの上ない喜びです。ご愛顧よろしくお願いたします。

※TM、[®]は米国デュボン社の商標および登録商標です。

製品写真



※縮尺は製品により異なります。製品により別の規格もあります。

殺虫スペクトラム

サイアジピル[®]として確認されている殺虫スペクトラムは下記の通りです。

目	種名	活性	作物群	目	種名	活性	作物群
チョウ目	コナガ	○	野菜	コウチュウ目	キスジノミハムシ	○	野菜
	モンシロチョウ	○			イネミスゾウムシ	○	稲
	ヨトウムシ	○			イネドロオウムシ	○	
	ハスモンヨトウ	○			ワタアブラムシ	○	
	オオタバコガ	○		モモアカアブラムシ	○	野菜 果樹	
	シロイチモジヨトウ	○		ダイコンアブラムシ	○		
	ハイマダラノメイガ	○		ニセダイコンアブラムシ	○		
	ワタヘリクロノメイガ	○		タイワンヒゲナガアブラムシ	○		
	カブラヤガ	○		チュウリップヒゲナガアブラムシ	○		
	モモシクイガ	○		ジャガイモヒゲナガアブラムシ	○		
	ナンシヒメシクイ	○		ダイズアブラムシ	○		
	モモノゴマダラノメイガ	○		マメアブラムシ	○		
	キンモンホソガ	○		イチゴケナガアブラムシ	○		
	ギンモンハモグリガ	○		ニンジンアブラムシ	○		
	リンゴコカクモンハマキ	○		ムギクビレアブラムシ	○		
	トビハマキ	○		ユキヤナギアブラムシ	△		
ミダレカクモンハマキ	○	オンシツコナジラミ	○				
モモハモグリガ	○	タバココナジラミ	○				
ミカンハモグリガ	○	ヒメフタテンヨコバイ	○				
ケムシ類	○	チャバネアオカメムシ	×				
アゲハ類	○	ミカンキジラミ	○				
チャノホソガ	○	クワコナカイガラムシ	×				
チャハマキ	○	チャノミドリヒメヨコバイ	○				
チャノコカクモンハマキ	○	ウスミドリカスミカメ	×				
ヨモギエダシヤク	○	ツマグロヨコバイ	○				
ニカメイガ	○	トビイロウンカ	△				
コブメイガ	○	ヒメトビウンカ	○				
フタオビコヤガ	○	セジロウンカ	△				
マメシクイガ	○	大豆					
ハエ目	トマトハモグリバエ	○	野菜	バッタ目	コバネイナゴ	○	
	マメハモグリバエ	○		アザミウマ目	ネギアザミウマ	○	野菜 果樹
	ナモグリバエ	○		ネギアザミウマ	○		
	オウトウシヨウジョウバエ	○		チャノキイロアザミウマ	○		
		ミナミキイロアザミウマ	○				
		ミカンキイロアザミウマ	○				
		ヒラスハナアザミウマ	○				

○ 活性あり △ 副次的な活性程度 × 活性なし

※ご使用はそれぞれの製品の登録範囲に基づいてください。